



遠大勵志

◎頑張れ！3年生

「逆転の黒陵」

国公立大学前期試験まで「あと7日」

校長通信No.72で、部活動にも学習にも「逆転の黒陵」という言葉が黒陵70年誌にも書かれているほど、ずっと以前から使われている、ということを書きました。



A判定の人だろうが、E判定だろうが、これでもうすべての準備が整い、万端だという人はいません。受験に向かう全員が不安な気持ちを抱えながら、それでも出願した大学への合格を信じて頑張っているのです。みなさんのお父さんお母さん世代の人たちもみな、不安な気持ちと向き合い、戦いながら、自分の努力と自分の力で重く大きな扉をこじ開けてきたのです。自分を信じて残り7日を頑張りたいと願っています。「常在戦場」という気持ちでの**「逆転の黒陵」**。素敵なフレーズです。3年生のみなさんには、この言葉を「エール」として、再度贈ります。

スラムダンク
に出てくる安西
先生(なんとなく
親近感を感じて
いる私ですが)も
話しています。



「最後まで・・・希望を捨てちゃいかん。あきらめたらそこで、試合終了だよ。とりあえず、君は日本一の高校生になりなさい。」と。

センター試験に向けての勉強は、国語、数学、英語、理科、地歴公民の5教科7科目や8科目、全ての教科科目に取り組んでいました。しかし、今は小論文のだけの人もいるし、国語数学英語の3教科に集中している人もいます。それぞれが、限られた時間を自分の前期試験の受験科目だけに朝から夜まで費やすことができるのです。頑張れないはずはありません。決してあきらめることなく、**がむしゃらに**悔いのないように頑張ってください！



【3学年通信「凱歌衝天」No.1 小田島学年長より】

本校の応援歌にはそれぞれ意味と歌われるべき場がある。第一応援歌は出陣の歌。第四と第六応援歌は、苦しい状況の時に「踏ん張れ！」と呼びかける歌。勝った時は凱歌。「凱歌は衝天関の声」と歌われる第三応援歌は勝利を目前にした時の歌である。

諸君の高校生活が様々な意味で勝利を掴み取ることを祈念して、今年の学年通信にはこの歌の一節から名前をつけた。～中略～、それらに正面から立ち向かい乗り越えようとする経験が、君たちの今後の人生にかけがえの無いものを与えてくれるであろう。そして、この黒陵で2年を過ごしてきた君たちは、その苦難を乗り越える力を間違いなく培ってきた。さあ、この1年間悔いなく、高い志を持ってやるべきことをやり抜こう。黒陵の仲間とともに。

